

平成29年度女性医師支援センター
大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会

日本医師会女性医師支援センターの 取り組みについて



公益社団法人 日本医師会 常任理事 今村定臣

女性医師支援センター事業について

臨床医に占める女性医師の割合は約15%であるが、国家試験合格者では女性医師の占める割合は3分の1となっており、今後女性医師数は急増していくと予想される。女性医師は出産や育児等により離職せざるを得ない状況にあり、パートタイム勤務など女性医師等（女性医師支援に資する育児等に参加する男性医師を含む。以下「女性医師等」という。）がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進やキャリア形成の支援を図り、もって医師確保対策に資することを目的とする。（厚生労働省委託「女性医師支援センター事業委託費実施要綱」より）

- 平成18年11月
厚生労働省より「医師再就業支援事業」を受託
- 平成19年1月
日本医師会女性医師バンク開設（就業継続支援、再研修含む）
女性医師バンク以外の事業も開始
- 平成21年4月
「医師再就業支援事業」改め「女性医師支援センター事業」へ
（女性医師の勤務継続への支援に重点を置き、更なる事業の発展を目指す。）

女性医師支援センター事業について

1. 女性医師バンクによる就業継続、復帰支援（再研修含む）

2. 女性医師支援に関わる各種会議の開催

- 「医学生、研修医等をサポートするための会」の実施
- 「女性医師支援センター事業ブロック別会議」 および「女性医師支援事業連絡協議会」の開催
- 「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」の開催
- 地域における女性医師支援活動の促進

3. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助

4. 女性医師の就業等に係る実情把握調査の実施

5. 女性医師支援フォーラム(仮称)の開催

- 西予市おイネ賞事業

1. 女性医師バンクについて

日本医師会女性医師バンク（以下「女性医師バンク」）は、厚生労働省「女性医師支援センター事業」の委託を受け、今後急増していくと予想される女性医師のライフステージに応じた就労を支援し、医師の確保を図ることを目的として、日本医師会が平成19年1月30日より開始した事業です。

◇求職登録者数 : 累計 8 6 6 名

(月平均新規求職登録数12件_平成29年4月~8月)

◇求人登録施設数 : 延べ 3, 7 2 8 施設

◇求人登録件数 : 2, 2 8 0 件

◇就業実績 : 5 8 3 件

内訳) 就業成立 : 5 6 5 件

再研修紹介 : 1 8 件

(平成29年8月末現在)

1. 女性医師バンクについて

女性医師バンクの特徴

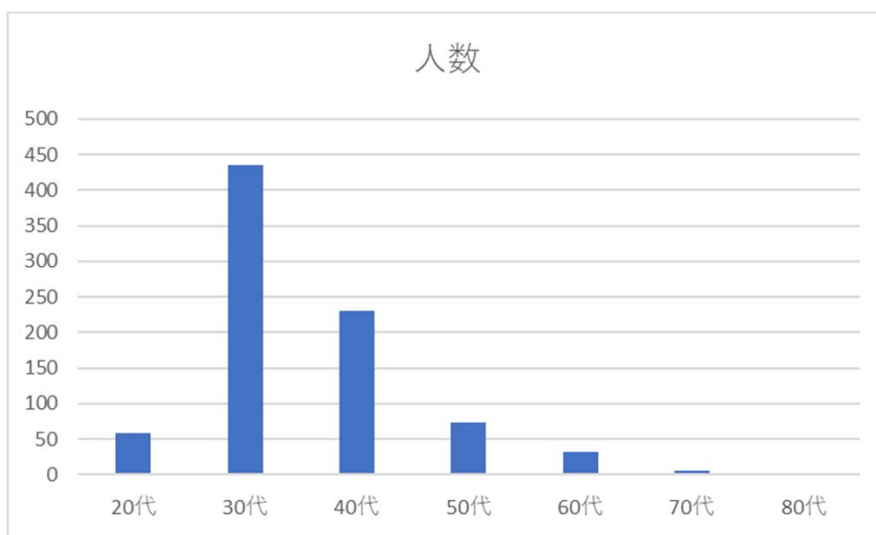
- 日本医師会の会員・非会員を問わず利用できます。
- 求職・求人ともに登録や紹介に関わる費用はすべて無料。
- 専任コーディネーターが、お一人お一人の状況に合わせ就業先をコーディネート。
- 医師のアドバイザーが専門的な相談にも対応します。



1. 女性医師バンクについて

□女性医師バンク求職登録者状況

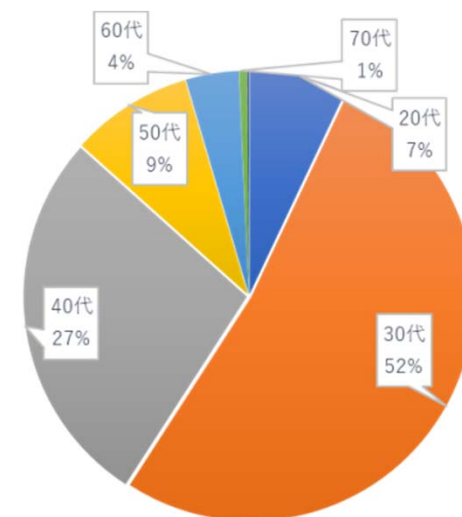
図1 女性医師バンクに登録した時点の年齢



求職者の約5割は30代

近年では、50代の方のご登録も増加傾向

図2 登録者の年代別比率



※日本医師会女性医師バンク 平成29年2月現在

出産・育児等ライフイベントの時期と重なる

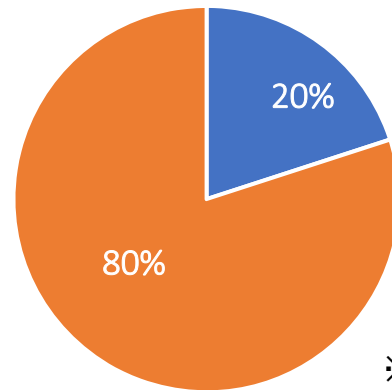
親の介護の問題なども出てくる年代

今後はますます多様な働き方を希望する女性医師が増えてくると予想されます。

1. 女性医師バンクについて

□女性医師バンク求職登録者状況

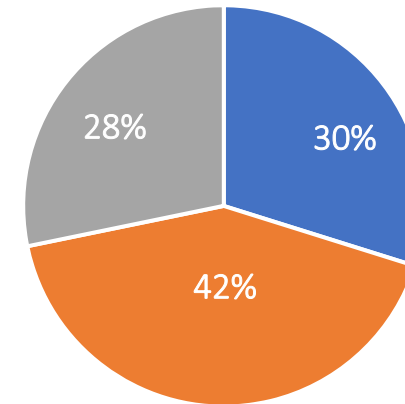
図3 1年以上の離職期間がある求職者割合



※日本医師会女性医師バンク
平成29年2月現在

■ 1年以上の離職期間あり

図4 希望勤務形態の割合



■ 1 常勤 ■ 2 非常勤 ■ 3 パート・アルバイト

求職登録者の約2割が1年以上の離職期間があり再就職を希望して登録



ワークライフバランスを重視した結果と考えられる

離職期間のある求職者の平均的な離職期間は4.5年



復職を支援するためには再研修が必要不可欠

このような女性医師の活躍の場を広げることで深刻化している医師不足解消につながると考えられます。

1. 女性医師バンクについて

□ 広報活動紹介

学会でのブース展示
求人施設へのDM配布



医療系雑誌等への女性医師支援に関する記事の掲載

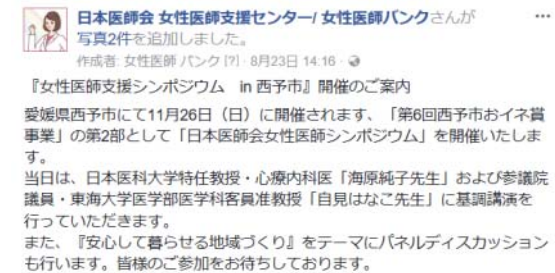


医療系雑誌等へ記事掲載を行い、女性医師支援の必要性について訴求をおこなっています

1. 女性医師バンクについて

□ 広報活動紹介

Facebook (SNS) を使った広報活動の強化



日本では1400万のユーザーがFacebookを利用しています。利用者は主に子育て世代。これから支援を必要とする若い世代へ向けての情報発信ツールとして今後活用していきます。

1. 女性医師バンクについて

□ 都道府県医師会との連携

● 都道府県医師会と日本医師会女性医師バンクとの連携強化

女性医師バンクHP内に都道府県医師会専用ページがオープンします！

【利用を想定している都道府県医師会】

- ・ ドクターバンクを設置していない
- ・ ドクターバンクはあっても検索システムを保有していない
- ・ ドクターバンクはあっても担当コーディネーターが不在 など

<メリット>

都道府県医師会専用ページより求人情報・求職者情報をご登録いただくことで、日本医師会女性医師バンクのコーディネーターが就業を斡旋。就業成立件数のアップにつながります。

求人情報をより多くの求職者が閲覧可能に。他県から引っ越し予定でお探しの求職者にも情報を届けられます。

全国ネットワークを構築し、より効果的な女性医師支援体制の強化を目指します！

2. 女性医師支援に関わる各種会議の開催

✿医学生、研修医等をサポートするための会

女性医師が生涯にわたりもっている能力を十分発揮するためには、職場や家庭における男性の理解と協力が不可欠であり、性別を問わず、**医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークライフバランスについて明確に理解**しておくことが求められる。本講習会等を通じ、**医学生や若い医師がキャリアを中断せずに就業を継続**できるよう、**多様な医師像のモデル**を提示する。

◇ 都道府県医師会等に対し、開催を依頼

(平成18-19年度は男女共同参画委員会が都道府県医師会と共催)

年度	開催箇所数
平成18年度*	10
平成19年度	25
平成20年度	44(医師会32、その他12)
平成21年度	47(医師会34、その他13)
平成22年度	56(医師会43、その他13)
平成23年度	57(医師会44、その他13)
平成24年度	60(医師会44、その他16)
平成25年度	65(医師会51、その他14)
平成26年度	70(医師会55、その他15)
平成27年度	76(医師会53、その他23)
平成28年度	75(医師会47、その他28)

◇ 開催に掛かる費用のうち、30万円を上限として、本会が負担

*平成18年度はモデル事業として10道
県のみ開催

2. 女性医師支援に関わる各種会議の開催

＊ 「女性医師支援センター事業ブロック別会議」 および 「女性医師支援事業連絡協議会」の開催

地域からの声をお聞かせいただくと同時に、本事業へのご理解を深めていただき、双方向による情報伝達ならびに各地域内での情報交換の機会として、平成21年度より全国6ブロックにて開催。また、各地で実施されたブロック会議の内容を、全国規模で情報共有し、意見交換を行う機会として開催「女性医師支援事業連絡協議会」を開催しています。

<女性医師支援センター事業ブロック別会議>

◇北海道・東北ブロック（担当：岩手県医師会）

日 時：平成29年12月3日（日）10時～12時15分 場 所：盛岡市内ホテル

◇関東甲信越・東京ブロック（担当：日本医師会）

日 時：平成30年1月6日（土）15時～17時 場 所：日本医師会館

◇中部ブロック（担当：石川県医師会）

日 時：平成29年11月12日（日）12時～14時 場 所：金沢市内ホテル

◇近畿ブロック（担当：大阪府医師会）

日 時：平成29年10月14日（土）15時～17時 場 所：大阪市内ホテル

◇中国四国ブロック（担当：徳島県医師会）

日 時：平成29年11月4日（土）15時～17時15分 場 所：岡山コンベンションセンター

◇九州ブロック（担当：大分県医師会）

日 時：平成29年12月16日（土）14時～16時 場 所：大分市内ホテル

<女性医師支援事業連絡協議会>

日時：平成30年2月14日（水）14時～16時半

場所：日本医師会館

3. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助

①研修会・講演会・講習会などへの託児施設の併設促進と費用の補助
(育児中の医師の学習機会の確保)

→都道府県医師会または郡市区医師会が主催する講演会等については、平成21年度から費用を補助（基本30万円）。

【平成28年度実績】 利用医師会数：24、利用子供数：369人

＜補助実績＞ H29.4現在

年度	医師会数	利用子供数
21年度	14	102
22年度	20	231
23年度	20	174
24年度	23	284
25年度	20	343
26年度	23	266
27年度	23	307
28年度	25	401

※医師会数と利用子供数の中に日本医師会開催分含む

4. 女性医師の就業等に係る実情把握調査の実施

2008年度に実施した同様のアンケート調査項目をベースに再度「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」を実施。

- 目的: 女性医師支援をさらに具体的かつ実効あるものにするため、全国の病院勤務女性医師の現況を詳細かつ正確に把握する。
- 調査期間: 2017年2月～3月末
- 調査方法: 全病院(8,475施設)に対して、病院に勤務する女性医師に調査票の配布を依頼。女性医師に無記名で回答していただき、調査会社へ直接返送。
- 調査主体: 日本医師会 男女共同参画委員会／日本医師会 女性医師支援センター
- 配布数: 30,323
- 回収数: 10,612 (病院勤務の全女性医師に占める回収割合 24.7%)
- 有効回答数: 10,373 (配布数を分母とした場合の有効回答率 34.2%)

5. 女性医師支援シンポジウムの開催

第6回西予市お伊ネ賞事業表彰式・日本医師会女性医師支援シンポジウム ～もっと素敵な西予市へ～

【主催：西予市、日本医師会、愛媛県医師会】

【開催日時：平成29年11月26日(日)13時～16時】、【場所：西予市宇和文化会館】

<第1部>

第6回西予市お伊ネ賞事業表彰式(13時～13時50分)

<第2部>

日本医師会女性医師支援シンポジウム(14時～16時)

I 基調講演 座長：今村定臣(日本医師会常任理事)

1. 健康寿命と輝き思考 ～素敵に年を重ねよう～

海原 純子(日本医科大学特任教授、心療内科医)

2. 女性医療職の輝く明日へ～地域の健康をめざして～

自見 はなこ(参議院議員、東海大学医学部医学科客員准教授)

II パネルディスカッション

座長：久野 梧郎(愛媛県医師会長)

1. 安心して暮らせる地域づくり 管家 一夫(西予市長)

2. パネルディスカッション

登壇者：管家一夫(西予市長)、海原純子、自見はなこ、

井関満永(西予市医師会長)、今井淳子(愛媛県医師会常任理事)

III 総括 今村 定臣



楠本イネ

*西予市ホームページより